

### 第三者評価結果

事業所名：ポピンズナーサリースクール横浜

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・全体的な計画は、保育所の教育理念や方針、目標に基づき、本社にて編成されている。</p> <p>・園においては教育理念、ナーサリースクール目標に基づき、毎年度末にスタッフと主に振り返りを行っており、年度初めに子どもの発達や地域の特性などを踏まえ内容を見直している。全体的な計画を年間計画に落とし込み、それに基づき各クラスにて月案、週案を作成している。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・室温、湿度計を全室完備し快適な環境整備に努めている。</p> <p>・設備に関しては安全チェックリストを、衛生面に関しては衛生チェックリストを用いて環境に配慮している。</p> <p>・保育室はオープンスペースであるが、0歳は個室、1歳児は区切りのあるスペースが用意されており、落ち着いて過ごせるように配慮されている。また、子どもが落ち着けるスペースとして個室、アトリエ、応接室を使用することも可能としている。年齢に応じた絵本や玩具を用意し、子どもの手の届く高さに配置しており、自由に手にとり好きな遊びを選択できるように設定している。</p>	
<p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・子どもの成長や個人差を十分に把握し、個々に合わせた成長の見守りをおこない、自発的に取り組めるよう配慮している。</p> <p>・子どもへの話しかけは、ポジティブな言葉で伝え、子どもの気持ちを受けとめることができるように取り組んでいる。命の危険や怪我、事故に繋がる場合は、子どもを制止させるが、それ以外の場合は、個々の活動の様子や気持ちに寄り添い保育を進めている。</p> <p>・保護者とは朝の受け入れ時にメモリーと口頭で子どもの健康や家庭での様子について確認し共有しており、検温表、健康観察表に記録している。昼ミーティングにおいてその日の様子を共有し、個別の詳細なことについては月末ミーティングで報告、一人ひとりの状況について担任以外の職員も把握し、きめ細かく対応できるように取り組んでいる。</p> <p>・言葉については、子どもたちにも正しい言葉遣いを伝えるように心がけており、幼児には「ふわふわ言葉、ちくちく言葉」などでわかりやすく掲示をしている。</p>	
<p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>・子どもの基本的な生活習慣を身につけられるよう、指導計画に沿って日々取り組みを行っている。また、家庭にも取り組んでいることを伝え、連携を図っている。</p> <p>・個々の様子に合わせ、活動内容のバランスや休息をとれるように心掛けており、0歳児から外から帰ったら手洗いをするなど継続して援助することで、自然に身につくように取り組んでいる。幼児クラスの子どもたちに向けては、自分たちで考えてできるように、丁寧に取り組むことができるように伝えている。(トイレのスリッパを揃える、正しい手の洗い方など)</p> <p>・トイレトレーニングは個々の発達に合わせて家庭と相談しながら始めており、園での子ども様子を伝え、子どもの気持ちを大切に負担にならないようにすすめている。</p> <p>・休憩時間は年齢ごとに設けており、保護者の希望にも柔軟に対応できるようにしているが、長時間の保育で疲れがでないように眠れなくても体を休めるように伝え静かに過ごせるようにしている。年長児は1月頃から就学に向けて昼寝をしないように取り組んでいる。</p>	

【A5】 A-1-(2)-④  
子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

a

<コメント>

・遊びや生活の中で、協調性の育みや、社会性を身につけていられるよう、職員が援助している。散歩の時は、あいさつをする、交通ルールを伝えるとともに危険箇所（段差、溝など）についても伝え、自分でも気づくことができるように援助している。  
・季節に合わせた散歩コースや内容を設定し、自然に触れる機会環境を設けている。近隣にはいくつかの公園があり、活動に合わせて行き先を選択し出かけ、木の実、落ち葉拾いをしたり、園庭での栽培活動（ミニトマト、バジル）水遊びを行ったりしている。  
・ありがとう、ごめんなさいという言葉で伝える重要性を伝え、自発的に発信出来る様に、年齢に合わせ、適切な援助を行っている。  
・表現活動では、リトミック、英語、制作などのほか、スピーチ活動では4、5歳合同で朝ごはんのことなど簡単な発表からはじめており、やりたいこと、行事で楽しかったことなど少しずつ気持ちを伝えられるように援助している。また、言われてうれしい言葉、悲しい言葉についてもグループで発表する機会を設けている。

【A6】 A-1-(2)-⑤  
乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・0歳児保育では、一人ひとりのペースに合わせて睡眠、食事、遊びに配慮しており、入園当初は午前や午後にも睡眠時間を設けるなど個別に対応している。保育室内は、安全に配慮し広く遊べるように配慮しており、木製の玩具を多く揃え、発達に合わせて手作り玩具や絵本なども準備している。運動遊びができるように設定するなど定期的に見直しを行っている。  
・システムの利用や送迎時に保護者とコミュニケーションを図り、家庭との連携を密にするように努めている。

【A7】 A-1-(2)-⑥  
3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・1歳児は区切りのあるスペースを使用し、子どもの様子を見ながらその都度遊びを提供している。自我の成長が最も見られる時期のため、子どもに寄り添い、子どもの気持ちを受け止め、時には子どもの気持ちを代弁しながら、子ども同士の関わりをサポートしている。  
・探索活動が十分行えるよう、散歩時の落ち葉拾いやどんぐり拾い、虫探しなども活動に取り入れている。また、図鑑や虫メガネなどを用意して子どもの興味関心が広がる環境を設定している。子どもの様子についてはメモリーで伝えるとともに送迎時の会話からも保護者と情報を共有している。

【A8】 A-1-(2)-⑦  
3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・オープンスペースであるが、クラスごとの活動を中心としている。4歳児、5歳児合同での活動が多く、グループ活動による食事や遊びなどの機会を多く取り入れている。  
・各年齢に応じた保育環境の設定と自分の気持ちを相手に伝えることの大切さ、自分の意見が違っていても良いことなど、個々に応じた対応に取り組んでおり、5歳児クラスにはじっくりと向き合って話し合いを行った。自信をもって小学校へ行ってもらうために、相手を大切に、自分も大切に、色々な意見があること、伝えることの大切さなどについて、いのちの大切さを伝える取り組みとして行っている。  
・子どもたちの日々の取り組みは、毎日写真で掲示し口頭でも伝え保護者に共有できるように取り組んでいる。  
・スポーツフェスティバル、クリスマスリサイタルへ保護者の参加があるほか、保護者の協力のもと、生まれた時の写真、気持ちなどを書いてもらい卒園時に渡す取り組みがある。

【A9】 A-1-(2)-⑧  
障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

・発達や身体的に障害のある子どもに対して、個別のカリキュラムを作成している。また、療育センターと連携を図り、アドバイスも受ける仕組みがあり全体で共有している。  
・インクルーシブな環境を設定することで、子ども同士は自然に声をかけ助け合う姿が見られており、心の成長にも繋がっていることが報告されている。  
・職員は、障害児保育などキャリアアップ研修や社員研修などを通じて学びの場を設けている。また、保護者からの相談には随時対応しており、必要に応じて相談窓口やパンフレットを渡すなどの対応をしている。

<b>【A10】</b> A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
---	---

<コメント>

- ・1日の生活の見通しが立てられるよう、幼児クラスは前日の帰りの会にて、明日のスケジュールを伝え、期待と安心をもって登園出来るよう環境を整えている。また乳児クラスも当日の朝、1日のスケジュールを伝え、見通しを持った生活が出来る様に配慮している。
- ・毎日のミーティングにおいて、日々の子どもの状況（体調面やメンタル面等）を細かく伝え、共有している、また保護者にもお迎え時に伝え、自宅の様子も共有してもらっている。
- ・乳児クラスは、9時に朝のおやつ、全園児11時～12時までにランチ喫食スタート、3時に全園児おやつ、18時に長時間保育の捕食または、夕食の提供を行っている。また、散歩時、夕方、など随時水分補給を行っている。
- ・夕方は少ない人数になると好きな遊びを提供し、一人ひとりとゆったりと関わり楽しく過ごせるように配慮している。マットを敷いて家庭のようにくつろいで過ごせるように環境の工夫をしている。

<b>【A11】</b> A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b
---	---

<コメント>

- ・幼児期までに育てほしい10の姿（項目）を盛り込んだカリキュラムの作成に基づいた保育を行っている。
- ・地域小学校訪問による、小学生との交流の機会があり、小学校就学に向けて期待が持てる様な機会が計画されていたがコロナ禍において昨年、今年中止となっている。
- ・小学校の養護の先生が園に来園し懇談を行うことで、スムーズに就学できるよう、意見交換を行う機会を設けている。
- ・児童保育要録の作成を行い、全園児分、提出している。

<b>A-1-(3) 健康管理</b>	第三者評価結果
<b>【A12】</b> A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a

<コメント>

- ・健康管理に関するマニュアルの整備されており、マニュアルに基づいて適切な対応に努めている。
- ・入園時に重要事項説明書にて、保健衛生に関する方針や取り組みについての説明を行っている。既往症や予防接種状況などは、保護者から書面にて共有してもらっている。また感染症が流行した場合は、保護者へ紙面で情報提供している。
- ・園では昼寝中のSIDSチェックを実施しており、0～2歳児は5分に1回、3歳児以上は15分に1回とし記録している。職員は、入社時に必ずSIDSの研修を受け一人ひとりの理解を深めている。
- ・コロナ禍においては保護者の送迎は玄関までとし、感染拡大防止に取り組んでいる。また、手洗い、うがい指導は各クラスで担任または主任が中心に行い、日頃から感染症予防に努めている。

<b>【A13】</b> A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
---	---

<コメント>

- ・システム、書面にて定期的な健診結果を記録しており、スタッフにはミーティングにて共有し保育に反映できるようにしている。
- ・保護者には、事前に質問や心配事を記入してもらうように伝え、当日医師より回答を受けるようにしている。その結果をシステム内や書面にて返信し、共有に取り組んでいる。

<b>【A14】</b> A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
--	---

<コメント>

- ・アレルギー児に対しては、医師の指示のもと、看護師、栄養士と面談を行い、連携により適切な対応に取り組んでいる。
- ・配膳の際には担当職員（エプロンの色を変え）がつき、別色トレイにて食事の提供が行われている。その際、栄養士との指さし、書面確認、別の保育職員との再確認を行い、誤配膳の予防に努めている。また、保護者やクラスの子どもたちに室内での飲食を行わないよう徹底している。
- ・アレルギー児対応がある場合には必ずマニュアルに沿って研修を行うようにしている。

A-1-(4) 食事	第三者評価結果
<p>【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べたい、おいしい、いい匂いなど感性が育つよう、月1回の食育活動を通じて、経験出来る様に努めている。子どもからの発信（グリーンピースは何から出来ているかなど）を受け止め、豆苗を育ててみたり、トマトの栽培、米作りなど体験、経験から食に対して興味感心が持てる様な取り組みを行っている。また、個々に合わせた食事の量やおかわりなどの対応を行っている。</li> <li>・年度初めにアンケートを行い、栄養士と担任が相談のうえ決定し、クッキングを実施している。スイートポテト、茶巾しぼりなど自分の分だけを作って食べる機会や、おにぎりパーティ、テラスで食べる機会など子どもが楽しく取り組むことができるように工夫している。また、系列園合同で田んぼを借りてもち米を収穫し年長児がサツマイモご飯を作る取り組みも実施されるなど食育活動に力を入れている。</li> <li>・食育活動では栄養士も指導に入っており、活動の様子は掲示で知らせている。</li> </ul>	
<p>【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合わせた献立、日本文化に触れるための郷土料理、多文化理解に触れるための海外の献立などを取り入れている。献立とともにその国に関して知らせ、郷土料理は担当を決めて調べた結果を朝の会などで説明するなどの取り組みがある。</li> <li>・子どもたちが食べやすい味付け、調理の仕方などを工夫し残食を減らすように努めており、栄養士が喫食状況の確認、残食の確認を行い、食がすすまない場合は相談し量を減らすなど意欲がでるように配慮している。また、苦手なものを減らすことを自分で伝えられるように援助している。年齢に応じて座り方、食具の持ち方、静かに話すなどマナーについても伝えている。</li> <li>・世界食糧デーの「おにぎりアクション」に保護者了承のもとで参加し（写真を投稿）食について子どもたちと一緒に考える機会を設けることができている。</li> <li>・給食室では衛生管理のマニュアルや給食提供に関するマニュアルが整備されており遵守している。</li> </ul>	

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
<p>【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムにて、子どもの成長や姿を共有、また個人面談や懇談会などで情報交換を行い連携を図っている。面談は年2回予定しており、コロナ禍においてはオンラインでも対応している。年度初め保護者懇談会もオンラインで実施につなげており、クラスのねらいなどを伝えることができている。</li> <li>・送迎時には出来る限り口頭で子どもの様子を伝えあうように努めているほか、日々の様子を写真に撮って保護者と共有し子どもの成長を確認してもらえるように取り組んでいる。</li> </ul>	
A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
<p>【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からいつでも相談にのれる体制を整え、システム等からも保護者の気持ちを汲み取るように心がけている。また日頃より声掛けを行うようにしており相談しやすい関係づくりの構築に取り組んでいる。</li> <li>・面談内容は、記録を残し、子どもの成長を見ながら、継続的に共有出来る様にしている。相談内容に応じて施設長が対応する場合もある。</li> </ul>	

【A19】 A-2-(2)-②  
家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。

a

<コメント>

・虐待防止マニュアルの整備がなされており、園内において研修を行い周知に取り組んでいる。また、ポピンズオンラインで視聴（全員）、学習システムも活用している。  
・朝の受け入れ時には視診を行い、着替え時、排せつ時などにも身体の確認を行い、疑わしいものは、写真を撮って記録を残すようにするなど早期発見と対応及び予防に努めている。また、ケースによっては、児相と連携をとる体制としている。

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

第三者評価結果

【A20】 A-3-(1)-①  
保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。

a

<コメント>

・職員間で保育の振り返りを行い、園全体で同じスタンスで保育に臨めるように取り組んでいる。  
・自己評価で、自身の振り返りをし、前向きに改善していくための意識向上を図るように努めている。週の振り返り、月の振り返り、年間は期ごとに振り返りを行っている。職員会議では、月末ミーティングで振り返りを行う仕組みとなっており定着している。